

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	運動学2	講義	3	60	柔道整復学(理論・実技) 解剖学・生理学
学科・学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科 3年	中村浩	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>運動学は人間の身体運動を科学的に研究する学問分野である。 運動障害をもつ患者を診て治療を行うために、人間の運動に関わる正常な身体の機能と構造について基本的な知識を備える。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>授業はプリントを配り、プリントを中心に行いますので、プリントをファイルして持って来て下さい。</p>					
教科書・参考書					
<p>教科書: 全国柔道整復学校協会:「運動学」・「解剖学」・「生理学」・「柔道整復学(理論編)」・「一般臨床医学」等</p>					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。</li> <li>● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。</li> <li>● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。</li> <li>● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。</li> <li>● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。</li> </ul> <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● プリントに関しては、必ず専用のファイルに綴じて下さい。</li> <li>● 万が一休む場合は、必ずプリントをクラスメートに頼んでもらっておいて下さい。(あとで渡すことは一切しません)</li> </ul>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	50-100	定期試験を行い評価する。			
その他	0-50	中間試験を実施する場合がある。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		<b>運動器（骨）①</b> 骨格系の総論を理解する。		/	中村
2		<b>運動器（骨）②</b> 脊柱・胸郭を構成する骨を説明できる。		/	中村
3		<b>運動器（骨）③</b> 上肢の骨とその特徴を説明できる。		/	中村
4		<b>運動器（骨）④</b> 下肢の骨とその特徴を説明できる。		/	中村
5		<b>運動器（骨）⑤</b> 頭蓋の骨と、その特徴を説明できる。		/	中村
6		<b>運動器（筋）①</b> 骨格筋の作用、補助装置、神経について概説を説明できる。		/	中村
7		<b>運動器（筋）②</b> 頭頸部の筋とその特徴を説明できる。		/	中村
8		<b>運動器（筋）③</b> 胸腹部の筋とその特徴を説明できる。		/	中村
9		<b>運動器（筋）④</b> 上肢の筋とその特徴を説明できる。（上肢帯・上腕の筋）		/	中村
10		<b>運動器（筋）⑤</b> 上肢の筋とその特徴を説明できる。（前腕・手の筋）		/	中村

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		<b>骨格筋の構造</b> 筋線維の構成を説明できる。		/	中村
12		<b>骨格筋の収縮と弛緩</b> 筋収縮の仕組みを説明できる。		/	中村
13		<b>骨格筋と張力の関係</b> サルコメアの長さ と 張力の関係 収縮速度と張力の関係 上記について説明できる。		/	中村
14		<b>定期試験</b>		/	中村
15		<b>心筋</b> 心筋の構造・性質を説明できる。		/	中村
16		<b>平滑筋</b> 平滑筋の構造・性質を説明できる。		/	中村
17		<b>運動器に分布する神経①</b> 神経系の構成要素を説明できる。		/	中村
18		<b>運動器に分布する神経②</b> 静止膜電位・活動電位とは何か、 説明できる。		/	中村
19		<b>運動器に分布する神経③</b> 活動電位の伝導・伝達について説明できる。		/	中村
20		<b>運動器に分布する神経④</b> 運動器に分布する神経伝達物質を受取る受容体を、列挙することができる。		/	中村

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		<b>運動の生理学①</b> 運動に関連する主な中枢神経の名前と働きを列挙できる。		/	中村
22		<b>運動の生理学②</b> 運動神経と運動単位とは何か説明できる。		/	中村
23		<b>運動の生理学③</b> 力の調整に必要な事項を説明できる。		/	中村
24		<b>運動の生理学④</b> 脊髄による反射とその調整 反射の種類と、その反射弓を説明できる。		/	中村
25		<b>運動の生理学⑤</b> 誘発筋電図について説明できる。 M波・H波の違いが分かるようにする。		/	中村
26		<b>運動の生理学⑥</b> 脳幹による運動調節には、どんな種類があるのか口述できる。		/	中村
27		<b>運動の生理学⑦</b> 高次運動機能を説明できる。		/	中村
28		<b>運動の生理学⑧</b> 運動器と神経の関係を総復習を行い、概要を説明できる。		/	中村
29		<b>定期試験</b>		/	中村
30		<b>運動学総復習</b> 運動学の国家試験過去問を解き、その傾向を確認する。		/	中村